

史料編纂人材養成プロジェクト

〔奈良県における史料編纂の現状〕

貴重な史料の宝庫

- 奈良県は古代に都が置かれ、京都へ遷都後も奈良の大寺社では多くの古文書等（史料）が作成され大切に保管されてきた。
- 中近世以降、地域社会においても大量の史料が作成され、その現存数は全国的にみてもトップクラス。

東大史料編纂所DB「所蔵史料データベース」
都道府県別史料数

1位	東京都	38,353 件
2位	京都府	13,876 件
3位	大阪府	2,839 件
4位	奈良県	2,794 件
5位	福岡県	1,713 件
6位	滋賀県	1,655 件
...

※東大史料編纂所DB「所蔵史料データベース」
都道府県名で検索しヒットする史料の件数

■ 史料の多くが利用できない状態（未公開）

〈課題〉
国の内外に奈良が本来もつ歴史的価値が十分に伝えられていない

〔奈良県史料編纂に係る専門的人材養成〕

- 人材養成部門と編纂部門によって構成される（仮称）奈良県史料編纂センターを設立し人材を養成

① 認定資格の創設（仮称：史料専門士）

史料のくずし字を読み、その内容を理解し、保存に係る知識・技能の習熟度を測ることのできる認定資格（仮称：史料専門士）を創設（将来的には国家資格）

② 史料編纂のための人材養成への人的支援制度

（仮称）奈良県史料編纂センターの史料編纂部門や人材養成部門への東大史料編纂所等研究機関・大学から講師派遣、翻刻文の監修・チェックなど研究者による人的支援制度を設立

（仮称）奈良県史料編纂センター

人材養成部門

- (1) 研修
- (2) 資格取得

編纂部門

- 史料の調査収集・整理
- 翻刻・公開（活用）

資格取得者を雇用

人的支援

人的支援

【研究機関・大学】

- ・ 東大史料編纂所
- ・ 国文学研究資料館
- ・ 国立歴史民俗博物館・・・など

奈良県からの情報発信

- 資格取得者を雇用した史料編纂事業の推進（史料の調査収集・整理・保存・活用）
- インターネット等により編纂の成果について広く無料で情報発信

日本経済再生に向けた効果

- 史料編纂の推進に伴う地域ニュービジネスの起業
- 県内に潜在する能力・意欲のある女性の雇用促進
- 文化資産である史料の掘り起こし及び情報発信による地域の活性化・まちづくり